

保護者様

令和6年 1月
横浜市立日吉南小学校
校長 山中 真紀子

令和5年度 横浜市学力・学習状況調査 結果報告

令和5年4月末、2～6年生を対象に、横浜市学力・学習状況調査が実施されました。調査は、前学年の学習内容になります。以下、本校における各学年の教科学習状況調査の正答率と、調査結果の概要・分析についてご報告させていただきます。

各学年の教科学習状況調査の正答率(%)

2年生

	国語	算数
日吉南小	56.5	65.9
横浜市	54.9	64.4

3年生

	国語	算数
日吉南小	74.2	77.7
横浜市	65.0	70.8

4年生

	国語	算数	社会	理科
日吉南小	66.2	77.1	81.7	82.9
横浜市	59.8	72.0	74.2	75.9

5年生

	国語	算数	社会	理科
日吉南小	71.5	81.6	75.2	74.4
横浜市	63.9	73.7	65.9	64.5

6年生

	国語	算数	社会	理科	外国語
日吉南小	67.6	73.5	78.2	64.5	92.4
横浜市	60.8	61.7	68.8	55.2	87.0

調査結果の概要

- 各教科の平均正答率は、全ての学年が横浜市の平均を上回っています。
- 生活・学習意識については、横浜市の平均程度である一方で、平均を下回ることもあります。

教科学習状況調査の結果から

どの学年も、全ての教科において横浜市の平均正答率を上回っています。特に、国語の説明的な文章や文学的な文章を読み取る「思考・判断・表現」と、算数の「知識・技能」について、十分な力が身についています。また、理科や社会、外国語においては、全ての領域で平均より高い正答率になっています。さらに、国語では、昨年度の調査と比べて、学力を伸ばした子どもの割合が、横浜市の平均よりも高い結果となりました。

本校では、主体的に学ぶ子を育成するために、課題解決に向かうための ICT 機器を活用した指導について研究を重ねてきました。今後も、ICT 機器の活用や教科担任制による指導、一人ひとりに合った指導などを充実させていきます。それによって、子どもたちが知識や技能をしっかり獲得し、それらを活用しながら思考・判断・表現につなげていく力を高められるようにしていきます。

生活・学習意識調査の結果から

本校の児童は、学年が上がるにつれ、どの教科に対してもまんべんなく意識が高くなる傾向があります。それぞれの教科で学ぶ内容に良さを感じ、自ら学ぼうとする意識があります。その際、「自分の知っていることを結び付けながら考えるようにしている」という児童が比較的多く、獲得した知識や技能を活用しながら、思考・判断・表現につなげていこうとする姿勢が見られます。

学校生活に対する意識も横浜市の平均と同程度で、特に「学校図書館に行くことが好き」と、全ての学年が高い割合で答えています。生活実態の観点から見ると、低学年は読書に時間を費やすことが多く、高学年になるほど、家庭学習の時間が増える傾向にあります。家庭学習の時間は、横浜市の平均を上回っています。

このように、本校の児童の教科学習の正答率の高さは、学習や読書に対する意識の高さともつながりがあると思われます。

一方で、「共感性」といった「相手の立場になって考える」意識については、横浜市の平均を下回りました。

コロナ禍が明け、本校では、今年度はどの学年も、様々な人と関わりながら学ぶ機会を多く作ってきました。このような中で、児童が自信をもち、相手のことを考え、認め合いながら成長できる人間関係作りをしていけるように、今後も支援してきたいと思えます。また、一人ひとりの良さを認め、それを生かしていけるよう、学校と家庭との連携を大切にしていきたいと考えています。